

令和4年度 京都市立西陵中学校 学校教育目標・経営方針

学校教育目標

« 正しく 仲よく 逞しく »

基盤的な学力と自ら律する力を備えた, 調和のとれた生徒を育成する

目指す生徒像

- 基盤的な学力を身につけ, 主体的に学ぶことができる
- 自らの生活をよりよくするため, 正しい判断ができる
- 多様な価値観を認め合い, 自他を大切にできる

目指す教職員像

- 生徒一人一人を徹底的に大切にして指導・支援を行う
- 職責を自覚し, 自己の資質・指導力の向上に努める
- 教育活動の質の向上を図り, 生徒や地域の状況に応じた取組を展開する

目指す学校像

- 「みんなが行きたい学校」楽しく・魅力ある学校
- 自己肯定感を高め, 主体的に学ぶ学校
- 信頼のある学校

学校経営方針

- 「授業改善」と「授業と連動した家庭学習の習慣化」を推進し, 基盤的な学力を全ての生徒に習得させる。
- カリキュラム・マネジメントの視点をもって生徒や地域の状況に応じた取組を展開し, 生徒の自ら律する力を高める。
- 「生きる力(知・徳・体)」を育む取組の質の向上と調和を図る。
- 風通しのよい職場づくりと教職員の資質・指導力の向上・働き方改革を進め, より一層の教育の質の向上を図る。

重点目標

(1) 予測困難な時代を切り拓くための資質能力の育成

■ 現学習指導要領の着実な実施

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

■ GIGAスクール構想【充実期】の実現

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両者についてICTを活用して一体的に充実すること
とで「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。

(2) 一人一人を徹底的に大切にし、不登校生徒の社会で生き抜く力の育成

(3) 小学校の一次統合により1小1中となり、令和 7 年度小中一貫校開校に向けて3年計画で準備を進める。

(4) 教職員の働き方改革の推進